

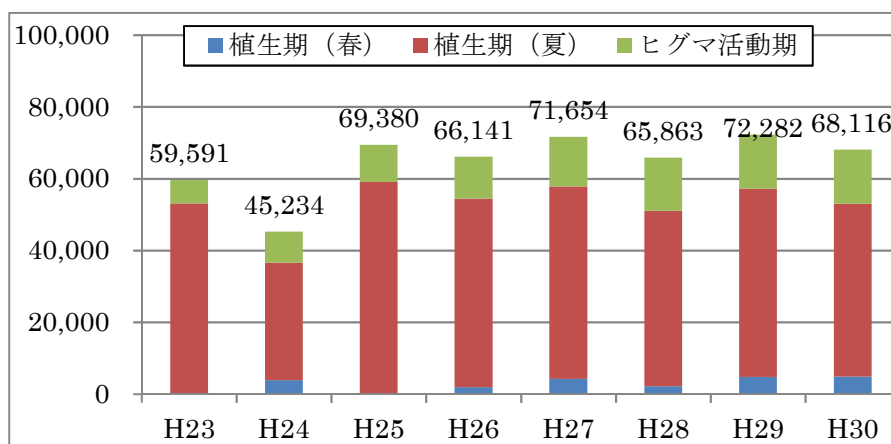
知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

地上遊歩道立入者数は 68,116 人（前年比 94%）となり胆振東部地震の影響により減少

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・ 運用期間：平成 30 年 4 月 20 日～10 月 8 日
- ・ 植生保護期（春期：4/20～5/9）立入認定者数：4,875 人（前年比 102%）
- ・ ヒグマ活動期立入認定者数：15,143 人（前年比 100%）
- ・ 植生保護期（夏期：8/1～10/20）立入認定者数：48,098 人（前年比 92%）
- ・ 上記合計の地上遊歩道立入者数：68,116 人（前年比 94%）



【制度運用期間立入認定者数】

- ・ ヒグマ遭遇：植生保護期（春期）2 回（前年 0 回）、ヒグマ活動期 119 回（前年 30 回、うちツアー中止 25 回（前年 14 回））、植生保護期（夏期）13 回（前年 14 回）
- ・ 4～10 月の知床五湖駐車場利用車両台数：乗用車 48,897 台（前年比 85%）、バイク 2,955 台（前年比 90%）、マイクロバス 174 台（前年比 80%）、大型バス 2,644 台（前年比 76%）

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期の現行植生保護期をヒグマ活動期に、秋期の現行自由利用期を植生保護期に変更し、開園～7 月をヒグマ活動期、8 月～閉園を植生保護期とすることを検討し、平成

29年度より春期及び秋期に検証実験を行っている。

○**春期検証実験**（ツアー参加/非参加者を対象としたアンケート、引率者への聞き取り、積雪や踏み外し等を確認する定点調査）

- ・春期検証実験期間中のツアー参加者数：43組 217名
- ・ツアー参加/非参加者を対象とした制度改定の賛意に関するアンケート結果：参加者の82%が「望ましい」と回答、非参加者は49%

○**秋期検証実験**（実験レクチャーの実施、利用者アンケート調査）

- ・秋期検証実験期間中の地上遊歩道利用者数 2,810名、内 2,158名がレクチャー参加者。
- ・利用全体の76%がレクチャー受講。
- ・地上遊歩道の閉鎖が12回、内9回はヒグマ遭遇によるもの。

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

- 第29回知床五湖登録引率者審査部会：平成30年11月21日
- 第30回知床五湖登録引率者審査部会：平成31年1月15日
- 第39回知床五湖の利用のあり方協議会：平成31年2月（予定）

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成31年度引率者数：32名（内新規1名）の予定（前年35名）
- ・平成31年度新規養成者募集期間：平成31年2月1日～3月15日